

■開催日時■
2010年12月3日(金)

■開催場所■
発明会館(虎ノ門, 東京)

紙と紙出力のアイデンティティ ～これからの電子写真装置と紙との関係～

「紙と紙出力」 シリーズ企画の 第2弾始動

日本画像学会電子写真技術部会では、去る6月10日(木)、ワークショップ「紙と紙出力のアイデンティティ～電子写真装置をめぐる紙と画像品質の課題～」を開催いたしました。

議論の内容は、デジタル印刷系、特に画質向上における用紙への要望・課題、省エネルギー化における薄紙対応技術の重要性、海外における現地紙対応、セキュリティ対応を含めた紙の高付加価値化など、紙と紙出力をめぐる議論は尽きませんでした。

今回のシンポジウムにおいては、ワークショップで議論した内容を参考に、紙に情報を出力するという価値に関して再考し、紙と紙出力が今後めざして行く方向性を探ります。

紙出力にこだわった現状認識と将来像

日本画像学会では、「紙と紙出力のアイデンティティ～これからの電子写真装置と紙との関係」と題して、紙と紙出力装置に関する最前線の研究開発事例をベースに、これからの紙出力のあり方を考えるシンポジウムを開催いたします。

ネットワーク環境の急速な進歩によって、紙出力の存在意義は、今日、大きく問われています。紙に対するシンパシーは世代によって大きく異なり、紙出力の是非の議論は環境問題もからんで複雑な中、本シンポジウムでは、ネット化社会におけるコミュニケーションの変化を再認識することから議論を試みます。

発展の兆しが見える電子ペーパーとの関係も考察し、更には、紙出力分野で急速に市場を伸ばしているデジタル印刷の分野での紙と紙出力装置の新たな挑戦的成果も踏まえ、紙出力の将来像を探るという大胆な企画にどうぞご期待ください。

- 開催日時 2010年12月3日(金)
9:20～16:50, 受付開始9:00～(予定)
- 場所 発明会館(東京都港区虎ノ門2-9-14 Tel: 03-3502-5499)
地下鉄銀座線「虎ノ門」駅3番出口徒歩5分
地下鉄「霞ヶ関」駅 A13番出口徒歩13分
- 対象 複写機、プリンタ、印刷機、その他イメージング関連分野に従事する研究開発者
- 参加費 会員および維持会員 9,000円
非会員 16,000円, 学生 2,000円
(会員証、維持会員証をご提示願います)
- 協賛 日本印刷学会、他未定

「紙とは」から最新の紙出力装置まで

人類の歴史の中で、情報の記録媒体としての紙と、情報の複製、再生産手段としての紙出力装置の果たす役割は大きなものがありました。賢人により書き記された英知は、その価値を理解する識者によって選択的に再生産され、人類が共有する知的資産として蓄積されてきました。今日、オンデマンドプリントに代表されるように紙出力の技術はピークを向かえつつあると同時に、紙出力を介さない情報の再生産、伝送手段の発達で、紙出力の機会も減少しつつあります。本シンポジウムでは、紙出力をめぐるこの2つの視点から今後の紙と紙出力の関係を考察します。

第1部では、「紙出力の意義とは」と題して、社会環境の変遷における紙出力の存在意義を考えます。情報の電子化、ネットワーク化によって膨大な情報量が短時間に伝送されることで、人間のコミュニケーションはどう変わったのか、紙に代わるとされる携帯可能な情報端末と紙出力とは何が同じで何が違うのかなど、最新の話から今後の紙の役割と期待を導きます。

第2部では、「紙と紙出力の現状と将来」と題し、今日の紙研究と開発の最前線、および紙出力装置の最前線を紹介いただき、紙出力の今日的価値を考えるとともに、紙と紙出力装置間の相互理解を深め、将来の紙出力のめざすべき方向性を模索します。

紙と紙出力をテーマに、分野の異なる多方面からの講師陣による講演を通じて、現代人の情報伝達のあり方についても再考する機会となることを期待しています。検討中のプログラム案を次に掲載しておりますので、是非とも本シンポジウムへの参加をご検討ください。

検討中のプログラム案

「参加登録」 について

今回のシンポジウムでは、参加者の事前登録を実施致します。事前登録の詳しい内容につきましては、10月ごろ、学会ホームページでご案内いたしますのでご参照ください。事前登録をされた方には当日、予稿集（冊子）に加えて予稿集の電子データを収録したCD-ROMを差し上げます。

	時間	題目	講演者	所属
第1部：紙出力の意義とは				
1	09:20-10:20	感性優位の時代における知性的メディアの復権	大野邦夫	職業能力開発総合大学
2	10:20-11:05	紙を見直す：環境負荷・作業効率の観点からの紙と電子メディアの比較	柴田博仁	富士ゼロックス
	11:05-11:15	休憩		
3	11:15-12:00	電子ペーパーの動向と期待する将来像	服部 仁	JBMIA 電子ペーパーコンソーシアム
	12:00-12:15	オーサズインタビュー		
	12:15-13:00	昼食		
第2部：紙と紙出力の現状と将来				
4	13:00-14:00	紙物性の基礎：電子写真方式の印刷品質に影響する紙の特性について	江前敏晴	東京大学
5	14:00-14:45	特殊紙開発の現状と出力装置への提言	毛利豊寿	特種東海製紙
	14:45-15:00	オーサズインタビュー		
	15:00-15:05	休憩		
6	15:05-15:50	富士ゼロックス Color1000/800 搭載高速カラー定着システム	岡林康人	富士ゼロックス
7	15:50-16:35	コニカミノルタ bizhub PRESS C8000 における用紙対応技術（仮）	徳武直人	コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ
	16:35-16:50	オーサズインタビュー		

日本画像学会 2010 年度シンポジウムのご案内 第2号 2010年10 企画運営 技術委員会電子写真技術部会

住所 東京都港区虎ノ門2-9-14
 電話 03-3502-5499 FAX 03-3595-2763
 URL <http://hatsumeikaikan.com/>
 交通 地下鉄銀座線「虎ノ門」駅 3番出口
 徒歩5分
 地下鉄「霞ヶ関」駅 A13番出口
 徒歩13分



ご要望をお寄せください

電子写真技術部会では、会員の皆様のニーズに応えられるよう、今後とも、タイムリーなテーマを取り上げ、シンポジウム、研究会等を企画、開催してまいります。シンポジウムへのご意見ご要望を歓迎いたします。お近くの委員、または学会事務局へお気軽にご連絡ください。



一般社団法人
日本画像学会
 The Imaging Society of Japan

〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5
 東京工芸大学内
 Tel: 03-3373-9576
 Fax: 03-3372-4414
 E-mail: info@isj-imaging.org
 URL: <http://www.isj-imaging.org/isj.html>